



210

この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2024年5月12日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部

39年で19人育て 里親と元里子の物語 12日(日)=1、3面

迫る



「養育里親」をご存じでしょうか。39年間で19人の里子を育てた坂本洋子さん＝写真＝と、その「子どもたち」の人生に焦点を当てます。

坂本さんは1985年に夫とともに里親登録しました。実親の死や病気、虐待を受けるなどした子どもを「里子」として受け入れるようになります。そして初めて迎え入れたのが、3歳の男

児でした。

家庭に次第になじむようになりましたが、小学校では「暴れん坊」として疎外されてしまいます。その後行政の判断で坂本家から施設に移されますが、中学卒業後に就職先はなく、社会は彼を受け入れてくれません。そして17歳でバイク事故を起こして死んでしまい、坂本さんたちは心に大きな傷を負います。そういう困

難を経て、多くの子が坂本家を巣立っていきました。

現在、里子の1人が坂本さんの後継として里親に登録し、子どもたちのケアをしています。

「帰ってこられる家があるっていいな」。元里子のひと言に、坂本さんが長く続けてきた答えがありそうです。

執筆は野倉恵記者です。

自民党が生成AIでキャッチコピーを作ったポスター

論点 スポーツ賭博は対岸の火事か

15日(水)＝オピニオン面

米大リーグの大谷翔平選手（ドジャース）の元通訳が、違法なスポーツ賭博をしていたとして銀行詐欺容疑で訴追された事件は、対

岸の火事なのでしょうか。

国内へのスポーツ賭博導入を巡る議論に携わってきた自民党の牧原秀樹衆院議員、

「ギャンブル依存症問題を考える会」の田中紀子代表、米国の事情に詳しい弁護士の松本泰介・早稲田大教授に聞きました。



特集ワイド 矢吹丈は不世出？

漫画家に直撃

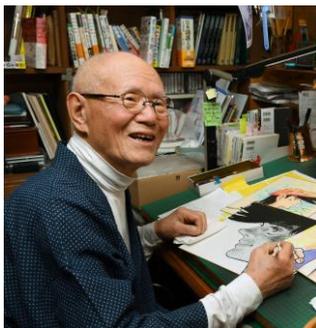
16日(木)＝夕刊3面

「立て……、立つんだジョー！」この名セリフ、今のZ世代だって、一度は耳にしたことがあるのではないのでしょうか。ボクシング漫画「あしたのジョー」の連載終了から、はや51年がたちました。

不屈のヒーロー、矢吹丈はもはや不世出となっ

ています。そう思って、ちばてつやさん（85）＝写真＝を訪ねましたが、希代の漫画家は「令和の時代にはジョーはいないって？ へへへ。それはね……」。

ちょっと照れながら、とっておきの秘話を披露してくれました。



自民党が4月、生成AI（人工知能）を使ってポスターのキャッチコピー「経済再生 実感をあなたに」を作ったことが話題になり、指示を与えられた瞬間に文章や画像が作られるAIは便利な技術で

政治家もAI活用

12日(日) 総合面

ですが、偽動画や偽情報の拡散など、民主主義を脅かす「負」の側面もあります。政治の現場でAIの活用はどこまで進んでいるのでしょうか。現状と課題を探りました。

竹橋の窓辺から

編集後記

「国語辞典って全部同じじゃないの？」と思ってる方も多いと思います。じつは編集方針によってそれぞれ特徴があります。そこで、毎日新聞社はイベンと「サンコクさん」とイワコクさん、国語辞典ってこんなに違う！を5月30日午後7時から開催します。国語辞典の編集に携わったゲスト2人が辞書づくりの舞台裏をご紹介します。ぜひご参加ください！



(中村馨)

毎日新聞